

令和5年度 西郷村立小田倉小学校 学校経営・運営ビジョン

西郷村教育大綱

- ◆ 西郷村の将来像
～ 人と自然が輝き 笑顔で未来に繋ぐ ～
- ◆ 西郷村教育基本理念
『自立』と『共生』
- ◆ 西郷村教育基本目標
自らを高め、共によりよく生きる人づくり

西郷村 子ども宣言

- ◆ 命を大切にします(命)
- ◆ 笑顔であいさつ、元気な返事をします(あいさつ)
- ◆ 本気で学び、自分の考えをはっきり話します(本気)
- ◆ きまりを守り、いじめのない学校にします(きまり)
- ◆ 感謝の心、思いやりの心を大事にします(感謝)
- ◆ 自分のことも周りの人のことも大切にします(自分)
- ◆ 夢に向かって、学び、努力します(夢)

西郷村 子育て宣言

- ◆ あいさつ、返事をしあえる親
- ◆ ほめる、叱ることができる親
- ◆ 「感謝する」ことを子どもと共に実践できる親
- ◆ 子どもの安全と安心のために汗をかける親
- ◆ 社会のルールと命の大切さを教え、導く親
- ◆ 子どもの可能性を引き出し、幸せを喜び合える親

教育目標

「よりよい自分に向かって、意欲的に学び、鍛え、人のために自分を役立てることができる、確かな学力を身に付けた、健康で心豊かな子ども」の育成

- よく考える子ども
- 思いやりのある子ども
- すすんで働く子ども
- 自ら鍛える子ども

学校課題研究テーマ

一人一人が意欲的に学び高め合う授業はどうあればよいか

- ◆ 一人一授業・授業研究会の実施
- ◆ 学び合い協力し合う教師集団→授業力・指導力向上

目指す児童像

- ◆ 本気で学び、共に考え、確かな学力を身に付けた子ども
- ◆ 感謝の心と思いやりのあるやさしい子ども
- ◆ 人のためにすすんで働き、自分を役立てる子ども
- ◆ 目標をもってすすんで運動に取り組み、心身を鍛えるたくま

第7次福島県総合教育計画

急激な社会の変化の中で、自分の人生を切り拓くたくましさを持ち、多様な個性をいかし、対話と協働を通して社会や地域を創造することができる人

- 施策1 学びの変革(資質・能力育成)
- 施策2 学校の在り方の変革(教員・学校の力最大化)
- 施策3 多様性を力に変える(学びのセーフティネット)
- 施策4 福島を生きる教育(福島で学び誇りを持つ)
- 施策5 人生100年時代を見通した学びの場
- 施策6 安心して学べる環境の整備

目指す学校のすがた

- ◆ 温かな人間関係で結ばれた学校
- ◆ 笑顔と活気にあふれる学校
- ◆ 地域とともにある信頼される学校

目指す教師のすがた

- ◆ 子どものよさをとらえ、伸ばすことができる教師
- ◆ 慕われ信頼される教師

よく考える子ども(学力)

本気で学び、共に考え、確かな学力を身に付けた子ども

【重点目標① 学び合う】

- 1 確かな学力の育成に努めます。
 - 基礎的基本的な知識・技能の確実な習得
 - 真剣な学びのための10項目の推進
 - 家庭学習の充実、読書活動の充実
- 2 活用力の育成を図ります。
 - 問題解決的、追究的な学習の展開
 - 自分の考えを伝える力、言語活動の充実
 - タブレット・オンライン英会話等、ICTの活用
- 3 校内研修を生かし、授業を充実させます。
 - 学習意欲の育成 学び合い コーディネート
 - 主体的・対話的で深い学びの実現

思いやりのある子ども(心力)

感謝の心と思いやりのやさしい子ども

【重点目標② 相手を思いやる】

- 1 心の教育と生徒指導を充実します。
 - 「考え、議論する道徳科」の授業充実
 - 自立心、自尊感情、自己有用感の向上
 - あいさつ・言葉づかいの意識高揚
- 2 人権教育の理念を踏まえた実践をします。
 - 人権教育(人権の日、人権の歌)の実践
 - 温かい言葉づかいによる思いやりの育成
 - いじめ認知と不登校防止の指導充実
- 3 特別支援教育の充実を努めます。
 - 特別支援教育の理念を生かした児童理解
 - 周りの人を大切にし、支え合う集団づくり
 - SC、SSW・関係機関との連携、就学指導

すすんで働く子ども(人間力)

人のためにすすんで働き、自分を役立てる子ども

【重点目標③ 自分を役立てる】

- 1 強い意志の育成に努めます。
 - よりよい自分・夢に向かう意志の育成
 - 産後までねばり強く取り組む心の育成
 - 責任をもって何事にも努力する心の育成
- 2 活動意欲や勤労観を育みます。
 - 係活動・委員会活動の主体的な取組
 - 自主性・自発的な活動意欲の育成
 - 人のために自分を役立てる態度の育成
- 3 よさや可能性を伸ばす。
 - 縦割り班活動の充実
 - 豊かな体験活動や地域貢献活動の推進
 - キャリア教育(キャリアスポーツ活用)の実施

自らきたえる子ども(健康・体力)

目標をもってすすんで運動に取り組み、心身をきたえるたくましい子ども

【重点目標④ きたえ合う】

- 1 体力の向上をめざします。
 - 授業充実と運動身体づくりプログラムの実践
 - 体育の授業及び学校生活の運動量確保
 - チャレンジ600m走、福島駅伝に挑戦70kmの推進
- 2 保健・健康教育を充実させます。
 - 「早起き、あいさつ、朝ご飯」基本的な生活習慣の確立
 - けが・病気の予防、健康・食育の指導の充実
 - むし歯の治療率向上と肥満の予防・解消
- 3 安全指導の充実を努めます。
 - 感染予防や危険回避能力の育成
 - 登下校時の安全確保、見守り隊との連携
 - 放射線教育・防災教育の実施と啓発

◆◆◆ 必 四 学 習 ◆◆◆

学 力 各種テスト 全国平均101% 心 力 あいさつ・温かい言葉づかい100% 人間力 ごみのない校舎・くつそろえ100% 健康・体力 福島駅伝に挑戦70km 自己記録100%

西郷第二中学校との小中連携の充実

- ◆ 義務教育(小・中)9年間を見据えた小中連携の推進
 - ・ 小中合同授業研究会の実施
 - ・ 生徒指導合同会議等の実施
 - ・ 地域学校保健委員会連携開催
 - ・ 文化スポーツの交流促進

保護者・地域・関係機関との連携

- ◆ 学校運営協議会との連携及び地域教育力の活用
- ◆ 学校支援ボランティア(読み聞かせ・見守り・学習支援)との連携
- ◆ 学校の情報発信(学年だより、ホームページ等)

特色ある教育活動

- ◆ 交流活動の充実(縦割り班活動、他校種等との交流)
- ◆ 体験活動の充実(セカンドスクール・合同活動・森林学習等)
- ◆ 特設活動の充実(陸上・合唱・吹奏楽・放課後学習)

